

県南ブロック・ニュース[2004夏号]

市民オンブズマンいばらき 県南ブロック発行
 ブロック長：尾崎靖男（編集者：大谷まさひこ）
 電話 0297-45-6473 Fax 0297-45-6645
 eメール mmozak@apricot.ocn.ne.jp
 ホームページ：市民オンブズマンいばらき [掲示板] にどうぞ

「市民オンブズマンいばらき」???①

「市民オンブズマンいばらき」を左翼活動家の集団と誤解する方もおられますが、行政のあり方を不審に感じた人、対応に納得できないと思った人など、オンブズマンは普通人の集まりです。

地方行政は二元代表制（注1:裏面）ですから、議会及び首長は住民の立場を代表するはずなのですが、民主主義では、普通の住民の感性→問題提起がなければ、納税者の権利さえ守られません。そこで、行政改革を求める人々からオンブズマンの活動が期待されているわけです。

情報公開時代の茨城県：首長交際費の公開状況

社会の情報化が進み、地方自治体もホームページによる公開が当然のようになりましたが、首長交際費は、遅々として公開が進んでおりません。今回、県及び県内22市のホームページの有無と「交際費の開示の有無」等を一欄表にしました。

自治体名	HP	首長交際費公開/16.4月支出額
茨城県	○	○ / 30,000円
水戸市	○	非公開
日立市	○	非公開
土浦市	○	非公開
古河市	○	非公開
石岡市	○	非公開
下館市	○	○ / 91,425円
結城市	○	非公開
龍ヶ崎市	○	非公開
下妻市	○	非公開
水海道市	○	非公開
常陸太田市	○	非公開
高萩市	○	非公開
北茨城市	○	非公開
笠間市	○	非公開
取手市	○	○ / 55,000円
岩井市	○	非公開
牛久市	○	○ / 114,160円
つくば市	○	非公開
ひたちなか市	○	非公開
鹿嶋市	○	非公開
潮来市	○	非公開
守谷市	○	非公開

県南ブロック懇談会を行いました

さる5月22日（土）、ワークヒル土浦にて新年度初の会員懇談会を行いました。

12名の方々が参加され、「市町村合併問題の現状」を、披田信一郎講師から報告いただき、全員のフリートークも活発でした。

つぎの「会員懇談会」ご案内です！

「水道料金」をテーマに、来る7月31日（土）午後1時30分よりワークヒル土浦（Tel 029-826-2622）で行います。柏村忠志さんを講師に勉強いたしますので、みなさん奮ってご参加くださいますようご案内します。

【会費納入のお願い】恐れ入りますが下記の郵便口座に振込んでください。加入者名「市民オンブズマンいばらき 県南ブロック」No. 00160-8-134920

2004年6月14日（火）に、県南メンバーの柏村、披田、有川、石川、殿岡及び栗山の6氏が土浦市役所で、記者会見し発表した概要が下記のように読売新聞その他の数紙に掲載されました。

「市民オンブズマンいばらき」は十四日、県内各市町村長あてに、補助金交付制度・運用の改革を求める要望書や改革モデルをつづった提案書を送った。同団体が行った十三日、①補助金使用基準が不明確で、詳細な報告などを求めないケースが多い②第三者による審議が十分機能していない...などの状況を指摘。透明性が高く、住民参加、住民監視の仕組み作りが重要だとしている。

補助金交付制度
改革を提言
市民オンブズマン

私の入会動機 県南ブロック長 尾崎靖男さん

私が転勤先の広島から自宅に戻ったのは、平成元年の11月でした。守谷ではその頃「常磐新線計画」について、情報不足のまま多くの人たちが期待と不安の中にいました。まもなく役場によるアンケート「新線の是非について」が実施され、「区画整理事業の決定」「住民説明会」となりました。何度となく行われる説明会に、私はほとんど参加しましたが、役場の説明に納得できない部分が多いので、自分でも本を読み、一人でよその講演会にも参加して勉強しました。最終的には県知事あてに【裏面に続く】

【一面から続く】「不服申し立て」を提出し、県都市計画審議会に出席して、口頭での意見陳述も行いました。(後で聞いたところでは、守谷では初めてのことだったそうです。)

そんな折の平成9年2月、「茨城にオンブズマン結成の準備」という新聞記事を眼にしました。「だれかに聞いてもらいたい」「知恵も借りたい」と思って、すぐに連絡を取りました。

水戸市で行われた結成準備会にも駆けつけました。同年4月には「市民オンブズマンいばらき」が結成されましたので、参加して今日に至っています。 以上

県南運営委員会（幹事会）からのお知らせ

- 今年の「県南ブロック活動方針」
 - ・身近なテーマと身の丈にあった活動！
 - ・みんなが参加しやすい、参加してもらえ運営！
- 県南ブロックニュースは、このあと秋号（10月）と冬号（1月）を発行し、会員懇談会のご案内はブロックニュースで行う。
- 「私の入会動機」として当時を振り返っていただき、初心を確かめるために、お一人ずつ寄稿をお願いします。

このほか、運営委員会では「気軽に参加し率直に話し合える雰囲気

の県南ブロックにして行きたい！」と話し合っています。

▼ メンバー所属の13市町の補助金交付状況や補助金交付の条例規則や要綱等を点検し問題点を整理し、みんなで知恵を絞り「こうすればよくなる」という改革提案書をつくった。

改革の概要は、交付最長年限の設定、原則公募、公募委員を含めた第三者審議会

で公開審査、収支明細報告と領収書提出、経過すべてを広報紙で公開等々。

提案書を出せばすぐ改革に取り組んでくれるほど行政は甘くないことは百も承知。今年度はプロジェクト第2弾活動として、特定の団体／事業への補助金交付状況をこの改革提案書に照らして点検し問題点を具体的に指摘し改革実行を迫る予定。市町村へ働きかけが多ければ多いほど改革圧力の効果は高まるので当プロジェクトとしてはできるだけ多くの会員のみなさんの参加を期待している。

関心のある方には資料送ります。

連絡先：有川（電話 Fax 0297-82-6204）

- ・市町村送付改革提言（首長申入書・問題提起書・改革提案本文：10頁）
- ・交付状況調査資料（各自治体交付団体・金額一覧表～13市町村：合計43頁）
- ・分析集計表13市町審議会比較、同交付額分類比較表8頁

（注1）二元代表制＝地方自治体は、議会議員だけでなく、知事や市町村長も住民が選びます。議会と首長を直接、住民が選ぶことで双方に責任をもたせ、互いに牽制しながら納税者等のための行政を追求させるシステムです。

首長には「執行権」を与え、独裁を防ぐため議会にも「議決権」を持たせています。首長は行政の裁量権のほかは、「予算」は議会が可決しなければ成立せず、税金を使った行政サービスも、議会が同意しなければ執行できません。

こうして、住民から負託をうけた代表同士が、権力を私的に使わないように牽制しながら納税者等のための行政実現を目指す制度ですが、ご承知のとおり機能していません。

補助金制度と運用の改革提案 県下全市町村へ郵送 「報告」

補助金プロジェクト座長 有川 弘

全県活動の「補助金交付制度の実態調査プロジェクト」の成果「補助金交付制度とその運用の改革」提言書を、6月14日土浦市に直接提出説明するとともに、他82市町村には首長宛に郵送した。その概要は常陽・茨城の地元新聞のほか読売・朝日・毎日・産経の茨城版にも取り上げられ紹介されたのでお読みの方も多と思う。

それぞれ、個々の団体の補助金の出し方・使い道について過去具体的な取り組みの経験から「モグラたたきもよいが、仕組みを元から直さねば・・・」ということになり、

編集後記
が、新米オンブズマンの
打ち合わせを基に、
考えをまとめた。独りよ
がりになったり、
がらないように自分な
らないうつと出来しな
言いやつと出来しな
がらなうつと出来しな
つた県南ブロックニ
ユースでした。
人お一人に読んでい
ただきたい、お会い
したことがない方は
にも、不出来の方は
つも読んで欲しい
と思っております。
私のようなヒョコ
も、活動したいと思
うけど不安だし変な
目で見られたくない
と迷う人も、自由自
在に情報公開を駆使
するベテランさん
も、どうすれば、み
んなが安心して会
ん談会に来てくれ
のだからか・・・
想いは飛びます。
はじめの幹事は、ま
じめの幹事は、ま
置けない人々です。
県南ブロックに展
あれ！
（大谷）